

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)9月16日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D25015
発 信 者 名:松山、北浦、山中、園田



「淡海ぶどう」、「淡海なし」の初出荷・販売に向けて関係機関が支援

津田干拓地果樹生産組合が生産する「淡海ぶどう」、「淡海なし」の初出荷・販売に向け、組合員による出荷品質の目合わせ、流通事業者との協議、販売イベント開催等の取組を関係機関が連携して支援しています。

令和4年度に発足した津田干拓地果樹生産組合は、ぶどう部会(5名、5ha)となし部会(4名、4ha)からなり、組合員のほとんどが新規就農者などの若手農業者です。

果樹団地の育成については、地元土地改良区、JA、市、県からなる「果樹産地構想推進協議会」が、果樹棚の整備(補助金活用)、栽培技術習得、販売戦略構築、販路開拓などの面で組合員の取組を支援してきました。

本年度、組合員が収穫した「淡海ぶどう」、「淡海なし」が初めて出荷されることから、組合員は自らの収穫物を持ち寄って出荷品質の統一を図りました。また、JAを通じて直売所・地域商社・市場と打ち合わせ、求められる品質、単価、ロット、納品方法等を確認しました。8月には地元の平和堂や農産物直売所「きてか〜な」で試食・販売イベントを開催し、組合員自ら店頭で接客することで商品に対する消費者の反応を確認してきました。

新しい産地であり、樹もまだ若い状況ですが、令和11年度には「淡海ぶどう」約50トン、「淡海なし」約100トンの生産規模となることから、販路確保、安定生産に向け、引き続き推進協議会が組合員の取組を支援します。



目合わせ会で品質の統一を目指す
(7/31、8/6)



組合員による平和堂での対面販売
(8/30)